

持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた 施策の取組状況について

2025年8月21日

愛知県都市・交通局交通対策課

- 1 人口減少での公共交通の課題
- 2 県・市町村の主な取組
- 3 県事業の取組状況
- 4 今年度のスケジュール

1 人口減少での公共交通の課題

- 昨年度のワーキンググループで議論を重ね、地域交通を確保していくための施策を考える観点として、次の3つに整理した。

観点1 幹線軸の交通の維持・充実

【主な意見】

市町村内の交通だけでは生活を守れないことから、複数市町村にまたがる交通が重要。

観点2 地域内交通のモード最適化、交通空白地解消

【主な意見】

交通空白地等で新しい取組を実施する際には、地域の関係者との調整が重要。住民の公共交通に関する理解を高める施策は効果的。

観点3 担い手の確保

【主な意見】

本県に移住してもらい、地域公共交通を支える人材として活躍していただければ、人口減少対策にもつながる。



これらの課題に対応するため、県・市町村で連携しながら取り組んでいる。
今年度の主な取組は次スライドのとおり。

2 県・市町村の主な取組

観点1 幹線軸の交通の維持・充実

地域間の移動を支える幹線軸交通を維持、充実するため、幹線バスに補助を行うとともに、利便性向上のための乗り換え拠点整備、情報提供や利用を促す施策を行っている。

	主な取組
県	・ 複数市町村をまたがる広域的・幹線的な路線に対する補助 ・ 地域住民や来訪者の移動利便性向上に向けたMaaSの実証実験
市町村	・ 幹線バス路線に対する補助(岡崎市、豊田市、新城市など) ・ 公共交通マップの作成、配布(岡崎市、豊田市、新城市など) ・ 免許返納者等を対象に高齢者パスの補助を活用したモニター調査を実施(岡崎市) ・ 高校生向け通学定期券等購入補助・学生向け運賃等補助(豊田市、南知多町、設楽町) ・ 隣接市町村、事業者、地域団体と連携した利用促進イベント等の開催(西尾市、田原市、南知多町など) ・ 利便増進計画に基づく運行ルートや運賃等の見直し(新城市、設楽町) ・ 待合設備(什器、トイレ等)の改修(新城市、設楽町) ・ イベント開催中のバス路線の延伸(田原市) ・ 幹線バスの乗車をきっかけにした外出支援、買い物支援(設楽町) ・ 高校進学に向けた乗車体験イベント(設楽町)

2 県・市町村の主な取組

観点2 地域内交通のモード最適化、交通空白地解消

各地域の実情に合った交通モードへの転換や、交通空白地の解消に向けた施策を行っていく。

	主な取組
県	- 交通モードの最適化のため、コーディネーターを派遣し、公共ライドシェアの立上げを支援 - 住民の移動ニーズに応じた市町村域を跨ぐAIオンデマンド交通の実証実験 - 三河山間地域を運行するバス路線に対する補助
市町村	- コミバス、乗合タクシー等の運行 - 公共ライドシェアの立上げ検討(岡崎市、田原市、設楽町) - グリーンスローモビリティの本格導入に向けた運行体制の検討(岡崎市) - 共助交通の取組に係る情報発信や補助(豊田市) - 利用の少ない定時定路線のバスを相乗りタクシーに転換(西尾市) - 住民主体の地域交通に対する運営費補助(新城市) - タウンミーティングなど地域住民主体の検討組織との移動手段確保の検討(新城市、南知多町) - 保育園、小中学校、高校への通園・通学支援や補助(設楽町、東栄町、豊根村)

2 県・市町村の主な取組

観点3 担い手の確保

観点1や2の各施策の展開を担う知識や技能を有する人材の育成を進めていく。また、ドライバー等の担い手を確保するため、部門横断的に連携して取組を進めていく。

	主な取組
県	- 地域の交通モードの最適化に向け、事業者や市町村職員を対象に活用可能な制度の紹介や好事例の共有のためのセミナーの開催 「あいち外国人材受入サポートセンター」を設置し、中小企業の外国人材確保を支援 - 中小企業の採用を支援するため、魅力発信やマッチングを支援 - 女性の活躍促進に向け、「あいち女性輝きカンパニー」の認証や企業へのアドバイス等を行うコーディネーターを派遣
市町村	- 外国人運転士の確保に向けた事業者、語学学校との包括連携協定の締結・取組推進（岡崎市） - 公共ライドシェアを担う住民ドライバー確保に向けた地域との協力体制構築の検討（南知多町） - 隣接市町村との共同運営の検討（設楽町・東栄町・豊根村） - 自家用有償旅客運送のドライバー報酬に対する補助（豊根村）

3 県事業の取組状況

	2025年度
バス対策補助金	☆ 要綱改正実施 補助金関連事務 (申請・受理・審査・支払) 【改正のポイント】 ○公共交通計画と補助制度の連動化に伴う文言修正 ○補助対象路線の要件の見直し ・複数市町村を跨ることに関する要件を平成13年3月31日時点の状態で判断することに緩和 ・輸送量実績の要件を「連続する二事業年度」で判断することに緩和 ・経常収益が経常費用の20分の11以上に達することを求める要件を廃止 ・キロ程の要件(10km以上)を廃止 ・本WG構成員のうち、財政力指数0.6以下の自治体が主体となって事業者への委託等による運行路線は補助対象路線とする規定を新設 ○国の要綱改正に伴う補助算出方法の見直し
地域MaaSの実証実験 (対象:小牧市、犬山市、 北名古屋市、豊山町、 大口町)	国交省補助 申請、採択 企画調整 実証実験 (2025/9/15~12/15)

3 県事業の取組状況

	2025年度
コーディネーター派遣 による公共ライドシェア の立上げ支援 (対象:岡崎市、田原市、 設楽町)	国交省補助 申請、採択 企画調整 ワークショップの開催(各地域4回程度) ※開催日時は市町と調整中
AIオンデマンド交通の 実証実験 (対象:南知多町、美浜町の 一部)	国交省補助 申請、採択 企画調整 実証実験 (2025/9/16~2026/1/30)
人材育成支援 (研修会の開催) (対象:県内全市町村、 交通事業者)	国交省補助 申請、採択 企画調整 2回の開催を予定 ※開催日時、講師調整中 【内容】 講師:学識者を想定 内容:公共交通やまちづくりに関する制度、手法、先進事例、 合意形成の理論や技術の習得に資するものを検討中

※いずれも予定であり、今後変更の可能性がある

4 今年度のスケジュール

- 今年度は、新規事業を中心に進捗確認やフォローアップ、事例の横展開等を行う。
- 新たな課題が顕在化する場合や事業の深度化に向けて、施策案を検討していく。
- 県内全市町村や交通事業者などが構成員となっている県公共交通協議会において、本WGの取組について適宜情報提供を行う。

	2024年度	2025年度
検討会議	• 2回の検討会議を開催	年度末に1回の開催を予定
地域交通確保WG	• 3回のWGを開催	☆ 第4回(今回) 【議題】 • 県、市町村の各施策の進捗状況 • 良好事例の共有 • 新たな課題の顕在化の状況  第5回(予定) 【主な想定議題】 • 県、市町村の各施策の進捗状況、結果共有 • 新たな課題に対する施策案検討、立案